

反射テスト 整式 因数定理 有理係数の因数分解 01

1. 因数定理を用いて、次の $f(x)$ を因数分解せよ。ただし係数は有理数の範囲内とする。

(S 級 2 分 40 秒, A 級 3 分 30 秒, B 級 5 分, C 級 7 分)

(1) $f(x) = x^3 - 2x^2 + 3x - 2$

(2) $f(x) = x^3 - 3x - 2$

(3) $f(x) = x^4 - 2x^3 - x^2 - 4x + 12$

2. 因数定理を用いて, 次の $f(x)$ を因数分解せよ. ただし係数は有理数の範囲内とする.

(S 級 2 分 10 秒, A 級 3 分, B 級 4 分 30 秒, C 級 6 分)

(1) $f(x) = x^3 - 3x^2 + 2x - 6$

(2) $f(x) = x^3 + 6x^2 + 11x + 6$

(3) $f(x) = x^4 - 11x^2 + 18x - 8$

反射テスト 整式 因数定理 有理係数の因数分解 01 解答解説

1. 因数定理を用いて、次の $f(x)$ を因数分解せよ。ただし係数は有理数の範囲内とする。

(S 級 2 分 40 秒, A 級 3 分 30 秒, B 級 5 分, C 級 7 分)

★ 因数定理

x の整式 $f(x)$ に対して、 $f(a) = 0$ を満たす a が存在する。

⇔ $f(x)$ は $(x - a)$ で割り切れる。

⇔ $f(x) = (x - a)g(x)$ と表せる (ただし $g(x)$ は x の整式)

★ 因数定理を用いての因数分解

① $f(x)$ の x に適当な数を代入して、 $f(x) = 0$ になるものを探す。根性が重要。

② 見つかったらそれを a として、 $f(x)$ を $(x - a)$ で割る。

(1) $f(x) = x^3 - 2x^2 + 3x - 2$

(2) $f(x) = x^3 - 3x - 2$

$$f(1) = 1^3 - 2 \times 1^2 + 3 \times 1 - 2 = 0$$

★ 因数定理 から、 $f(x)$ は $(x - 1)$ で割り切れる。

$$\begin{array}{r|rrrr} 1 & 1 & -2 & 3 & -2 \\ & & 1 & -1 & 2 \\ \hline & 1 & -1 & 2 & 0 \end{array}$$

$$f(x) = (x - 1)(x^2 - x + 2)$$

$$f(-1) = (-1)^3 - 3 \times (-1) - 2 = 0$$

★ 因数定理 から、 $f(x)$ は $\{x - (-1)\} = (x + 1)$ で割り切れる。

$$\begin{array}{r|rrrr} -1 & 1 & 0 & -3 & -2 \\ & & -1 & 1 & 2 \\ \hline & 1 & -1 & -2 & 0 \end{array}$$

$$\begin{aligned} f(x) &= (x + 1)(x^2 - x - 2) \\ &= (x + 1)^2(x - 2) \end{aligned}$$

(3) $f(x) = x^4 - 2x^3 - x^2 - 4x + 12$

$$f(2) = 2^4 - 2 \times 2^3 - 2^2 - 4 \times 2 + 12 = 0$$

★ 因数定理 から、 $f(x)$ は $(x - 2)$ で割り切れる。

$$\begin{array}{r|rrrrr} 2 & 1 & -2 & -1 & -4 & 12 \\ & & 2 & 0 & -2 & -12 \\ \hline & 1 & 0 & -1 & -6 & 0 \end{array}$$

商の $x^3 - x - 6$ は $x = 2$ を代入して 0 になるから、
もう 1 回 $(x - 2)$ で割り切れる。

$$\begin{array}{r|rrrr} 2 & 1 & 0 & -1 & -6 \\ & & 2 & 4 & 6 \\ \hline & 1 & 2 & 3 & 0 \end{array}$$

$$f(x) = (x - 2)^2(x^2 + 2x + 3)$$

2. 因数定理を用いて、次の $f(x)$ を因数分解せよ。ただし係数は有理数の範囲内とする。

(S 級 2 分 10 秒, A 級 3 分, B 級 4 分 30 秒, C 級 6 分)

(1) $f(x) = x^3 - 3x^2 + 2x - 6$

(2) $f(x) = x^3 + 6x^2 + 11x + 6$

$$f(3) = 3^3 + 3 \times 3^2 + 2 \times 3 - 6 = 0$$

★ 因数定理 から、 $f(x)$ は $(x - 3)$ で割り切れる。

$$\begin{array}{r|rrrr} 1 & 1 & -3 & 2 & -6 \\ & & 1 & -2 & 0 \\ \hline & 1 & -2 & 0 & -6 \end{array}$$

$$f(x) = (x - 3)(x^2 + 2)$$

$$f(-1) = (-1)^3 + 6 \times (-1)^2 + 11 \times (-1) + 6 = 0$$

★ 因数定理 から、 $f(x)$ は $\{x - (-1)\} = (x + 1)$ で割り切れる。

$$\begin{array}{r|rrrr} -1 & 1 & 6 & 11 & 6 \\ & & -1 & -5 & -6 \\ \hline & 1 & 5 & 6 & 0 \end{array}$$

$$\begin{aligned} f(x) &= (x + 1)(x^2 + 5x + 6) \\ &= (x + 1)(x + 2)(x + 3) \end{aligned}$$

(3) $f(x) = x^4 - 11x^2 + 18x - 8$

$$f(1) = 1^4 - 11 \times 1^3 + 18 \times 1 - 8 = 0$$

★ 因数定理 から、 $f(x)$ は $(x - 1)$ で割り切れる。

$$\begin{array}{r|rrrrr} 1 & 1 & 0 & -11 & 18 & -8 \\ & & 1 & 1 & -10 & 8 \\ \hline & 1 & 1 & -10 & 8 & 0 \end{array}$$

商の $x^3 + x^2 - 10x + 8$ は $x = 1$ を代入して 0 になるから、
もう 1 回 $(x - 1)$ で割り切れる。

$$\begin{array}{r|rrrr} 1 & 1 & 1 & -10 & 8 \\ & & 1 & 2 & -8 \\ \hline & 1 & 2 & -8 & 0 \end{array}$$

$$\begin{aligned} f(x) &= (x - 1)^2(x^2 + 2x - 8) \\ &= (x - 1)^2(x - 2)(x + 4) \end{aligned}$$